

対象国の条件:資源外交上重要な資源保有途上国:資源の絆対象国

研修コース番号:201984608-J002

案件番号:201984608

主分野課題:資源・エネルギー/鉱業

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

資源国の絆候補生・卒業生(技官・教官)に対して、資源探査・開発及び環境対策におけるリモートセンシング及びGISの活用並びに効率的な探査の立案・実施能力を高めるための研修。研修の実施に当たっては関連する国内組織・大学との連携を図り、親日的幹部の育成が期待される。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 資源探査・開発及び環境対策におけるリモートセンシング及びGIS活用を基礎と実例を通じて学び、適切な資源探査知識・能力を向上させる</p> <p>【成果】 (1) 非鉄金属資源の探査・開発、環境対策におけるリモートセンシング及びGISを活用する効果について理解が深められる (2) リモートセンシング及びGISを用いた資源探査の実習により、理論と応用への理解が深められる。 (3) 地質関連基礎学問と探査との関連について理解が深められる。 (4) 探査関連実験室研究とフィールド実習の関連について理解が深まる。 (5) リモートセンシングデータと地質関連データの総合解析について理解が深まる。 (6) 実習を通じて探査計画立案能力が高まる。</p>	<p>【対象組織】 鉱物資源関連省庁・大学等</p> <p>【対象人材】 以下の(1)～(5)をすべて満たす者。 (1) 政府機関およびそれに準ずる機関並びに大学で、資源探査に係わる40歳以下の者。 (2) 資源探査で3年以上の職務経験(研究・教育を含む)がある技官・教官。 (3) 大学で地質もしくは鉱業に関する学位を取得した者。 (4) 英語及びPC操作能力を有する者。 (5) 心身とも健康な者。</p>

内 容	本邦研修期間	2019/10/1～2019/11/1
<p>(1) 非鉄金属資源の探査・開発、環境対策におけるリモートセンシング及びGISとの関係を学ぶ。 (2) リモートセンシングの画像処理・解析並びにGIS手法にかかる実習 (3) 資源地質の基礎に関する講義、実験室研究、フィールド実習 (4) リモートセンシングを応用した探査手法を、座学・実習 (5) 現場見学 (6) 探査計画立案、発表等</p>	担当課題部	産業開発・公共政策部
	所管国内機関	JICA東北
	関係省庁	経済産業省
	実施年度	2018～2020

主要協力機関 一般財団法人宇宙システム開発利用推進機構, 九州大学, 秋田大学

特記事項及びホームページ